

秦野市文化会館 令和7年度 事業計画書

＜目次＞

1. 管理運営の理念、方針
2. 管理業務の体制
3. 事業の概要及び実施する時期
4. その他の事項

令和7年 2月 6日
みんなの文化会館はだのパートナーズ

1.管理運営の理念、方針

(1)管理運営理念は「みんなの文化会館」

私たちは、秦野市文化会館の設置目的「市民の文化向上及び福祉増進(秦野市文化会館条例第2条)」を達成するため、条例・法令を遵守し、利用者にとって公平・平等かつ安心・安全を確保しながら、市の芸術文化振興、賑わい創出の拠点として「みんなの文化会館」を合言葉に、市民とともに創り、育み、未来につなぐ新しい形の施設運営を目指します。

(2)10 の管理運営方針

上記の理念に基づき、次の10項目を管理運営方針とします。

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| ①優れた芸術文化の鑑賞機会を提供します | ⑥with コロナ時代のサービスを提供します |
| ②公平・公正な運営を行います | ⑦大規模改修のアドバイス体制を整えます |
| ③安全・安心で快適な施設管理を行います | ⑧効率的で効果的な運営を行います |
| ④高いホスピタリティで利用者をお迎えします | ⑨環境配慮のSDGs運営を目指します |
| ⑤地域交流拠点として賑わいを創出します | ⑩市民との「共創運営」を目指します |

(3)秦野らしい「共創運営」を目指します

「みんなの文化会館」の理念に基づき、地域の様々なステークホルダーと連携する新しい「共創運営」の形を目指します。40年以上のメディア活動を通じ、地域社会と強い信頼関係を築いてきた代表企業の強みを生かし、みんなで地域の文化を育てようという地域共創の仕組みづくりに取り組みます。

【主な取り組み】

○地域人材を活用した文化芸術事業

○地域の文化芸術を発信するメディア事業 ○アウトリーチ型の文化芸術コンテンツづくり

(4)「賢い活用」「スマート化」の視点、ノウハウを取り入れます

私たちは「発信力」「企画力」「人脈・ネットワーク力」といった強みを生かし、施設の「賢い活用」「スマート化」の視点を重視した管理運営をすることで、事業収支を好転させ、収益をサービス向上に還元するという好循環を生み出すため、次のような事項に取り組みます。

【主な取り組み】

○数値目標の設定 ○マーケティング活動 ○スタッフのモチベーションアップ ○営業活動の展開
○デジタル化推進

(5)環境へ配慮したSDGs運営を目指します

SDGs経営の視点を大切に、次のようなことに取り組みます。



【主な取り組み】

○エネルギー使用量の目標を設定 ○公共交通機関での来館や消灯・節水の呼びかけ ○ペーパーレス化 ○ノー残業デー、クールビズ・ウォームビズの実施 ○ごみ持ち帰り推進 ○グリーン購入

2. 管理業務の体制

(1) 共同事業体「みんなの文化会館はだのパートナーズ」の役割

- 最高意思決定機関 ○年度事業計画の策定と承認 ○パートナーズ運営会議の開催
- 秦野市との指定管理者協定に基づく履行管理 ○事業体協定に基づく履行管理

(2) 「みんなの文化会館はだのパートナーズ」の構成企業の役割

- 株式会社タウンニュース社(代表企業)…事業体事務局、施設の管理運営、施設設備保守監視、自主事業の企画運営
- 株式会社日動計画…環境衛生測定・清掃・保安警備
- 株式会社サウンドダック…舞台設備管理運営業務・自主事業の運営
- 株式会社関野建設…施設の点検・改修
- タウンニュース・ヒューマンキャピタル株式会社…自主事業の企画・レストラン運営

(3) 効果的な人員配置で高水準のサービスを提供

館長、事務管理職員、施設維持管理職員、舞台技術職員を効果的に配置し、万全の体制で業務にあたります。また、構成企業各社の本社職員が職務をサポートします。

貸館事務・事業運営の体制

館長が貸館事務・事業運営の統括を兼任し、1日4～5人常駐の体制で業務にあたります。また、タウンニュース社本社や秦野支社のサポート体制を強化し、事業運営や事務作業、広報業務などについて支援します。

舞台設備管理運営業務の体制

舞台、照明、音響の各技術担当を配置し、舞台設備の保守点検、運営、コンシェルジュサービスを提供します。

施設維持管理業務の体制

- 日常清掃…1日1～3人の日常清掃員、巡回清掃員を配置 ○定期清掃…日動計画本社から派遣
- 施設設備の保守監視業務…1日1～3人の従事者を配置 ○環境衛生測定業務…建築物環境衛生管理技術者を1名選任及び配置
- 保安警備業務…24時間警備とし、開館時間中は1名以上の警備員を配置し、休館日及び閉館時間中は機械警備で行います。

(4) 危機管理体制

安全管理を最優先事項とし、様々なりスクを認識した上、法令規則の遵守を徹底し、安全・安心を確保する体制づくりと未然防止策を講じます。

- 日常点検、巡回警備、施設・舞台の定期点検等により、事故等の未然防止につなげます
- 危機管理マニュアルに基づき、年2回の防災訓練を実施します

(5) 個人情報管理の管理体制

個人情報の漏えいは個人の権利侵害や行政の信用失墜につながるとの責任を強く認識し、市個人情報保護条例等を遵守し、情報の適正管理と保護徹底に取り組みます。代表企業の経営管理部長を個人情報管理責任者として配置し、個人情報保護規程の遵守、セキュリティ対策に取り組みます。

3. 事業の概要及び実施する時期

(1) 令和7年度 自主事業の実施方針

令和7年度も、大規模改修により10カ月間の全館休館が予定されていますが、当社実施の「クアーズテック秦野カルチャーホール市民意識調査」(令和6年6月/回答総数184 件)の結果及び私たちの自主事業実施方針を踏まえ、下記のような方針で自主事業を展開します。

・令和6年度に続き、休館中もアウトリーチ型事業の展開により、市民の文化・芸術の鑑賞機会の創出、および会館再開時の集客拡大に取り組みます。

アウトリーチ型事業については、①小・中学校：歌声の響くまちへ～秦野の心のふるさとの歌「丹沢讃歌」を歌おう！の訪問授業(調整中)、②市内公民館での伝統文化継承シリーズ ③福祉施設、市内指定管理者施設との連携のアウトリーチを実施します。

みんなの文化会館自主事業実施方針

- ①話題性のある人気アーティストの公演を実施します
 - ②市民が文化芸術に気軽に触れることができる場を提供します
 - ③学校やサークル等の発表の場として市民が主役の舞台を提供します
 - ④市内で活躍する若手アーティストの支援や、発掘を行います
- ※①③については、大小ホール再開時へ向けた準備を行います。

クアーズテック秦野カルチャーホール 市民意識調査

令和6年6月実施の「市民意識調査」では、「文化・芸術の鑑賞や活動についての考え」の問いに対し、「とても大切だ」「まあ大切だ」と答えた人が99%を占め、「施設に求めるサービス」についての質問では「公演・イベントの充実」と答えた人が全体の66%いました。また、「興味ある公演ジャンル」の設問では、クラシック音楽(41%)、演劇ミュージカル(37%)、演歌・歌謡曲(36%)、落語(26%)、ジャズ(21%)、お笑い(19%)、ロック・ポップス(19%)、歌舞伎・古典芸能(19%)と嗜好が分かれました。令和7年度はアウトリーチ事業で、クラシックを中心とした音楽鑑賞や楽器体験の機会の提供を重点施策とします。

(2) 令和7年度 年間の自主事業数

1. 仕様書の実施基準

- ①文化会館などで行う市民の芸術文化の振興を目的とした事業
 - ・やまなみファミリーコンサート 【4 事業以上】 ・丹沢音楽祭 【1事業】
 - ・山田和樹プロデュース公演 【1事業】 ・その他、市民の文化振興に資する事業【4事業以上】
- ②文化会館の利用促進、普及を目的とした事業(人寄せ要素を重視した公演)
- ③その他の事業(芸術文化の振興及び会館の利用普及及び宣伝を図る事業)

2. 実施回数

場所	①文化会館等で行う市民の芸術文化振興を目的とした事業	②文化会館の利用促進、普及を目的とした事業	③その他の事業	計
大・小ホール	0	0	0	0
その他施設	22	18	5	45
合計	22	18	5	45

※全館休館で実施困難なため、丹沢音楽祭と山田和樹プロデュース公演は含まれていません

(3)令和7年度 年間の自主事業スケジュール(計画案)

実施日	自主事業名	事業目的	会場	動員目標
4月12日(土)	サタデーフェスティバル	②利用促進普及事業	会場選定中	150
4月11日(金)	はだの文化通信「ハルモニア」発行	③その他の事業	タウンニュース紙面企画	—
4月6日(日)	ランチタイムコンサート(三味線)	①芸術文化振興事業	タウンニュースホール	60
4月 未定	アウトリーチ事業(福祉)	②利用促進普及事業	市内福祉施設	50
5月4日(土)	サタデーフェスティバル	②利用促進普及事業	調整中	150
5月6日(火)	みんなの秦野寄席(アウトリーチ)	①芸術文化振興事業	本町公民館	50
5月11日(日)	ランチタイムコンサート(ギター)	①芸術文化振興事業	タウンニュースホール	50
5月25日(日)	ティータイムコンサート	①芸術文化振興事業	タウンニュースホール	60
6月7日(土)	サタデーフェスティバル	②利用促進普及事業	調整中	150
6月22日(日)	ランチタイムコンサート(マリンバ)	①芸術文化振興事業	タウンニュースホール	60
6月 未定	公民館アウトリーチ(伝統芸能)	①芸術文化振興事業	市内公民館	50
6月 未定	アウトリーチ事業	②利用促進普及事業	市内施設	50
7月6日(土)	サタデーフェスティバル	②利用促進普及事業	(調整中)	150
7月12日(金)	はだの文化通信「ハルモニア」発行	③その他の事業	タウンニュース紙面企画	—
7月13日(日)	ランチタイムコンサート(ハープ)	①芸術文化振興事業	タウンニュースホール	60
7月20日(日)	ティータイムコンサート	①芸術文化振興事業	タウンニュースホール	60
8月未定	ランチタイムコンサート	①芸術文化振興事業	タウンニュースホール	60
8月未定	公民館アウトリーチ(伝統芸能)	①芸術文化振興事業	市内公民館	50
8月未定	アウトリーチ事業	②利用促進普及事業	市内施設	50
9月未定	ティータイムコンサート	①芸術文化振興事業	(調整中)	30
9月未定	アウトリーチ事業	②利用促進普及事業	市内施設	50
10月5日(土)	サタデーフェスティバル	②利用促進普及事業	(調整中)	150
10月未定	はだの文化通信「ハルモニア」発行	③その他の事業	タウンニュース紙面企画	—
10月未定	ランチタイムコンサート	①芸術文化振興事業	タウンニュースホール	60
10月未定	アウトリーチ事業	②利用促進普及事業	市内施設	30
11月1日(土)	サタデーフェスティバル	②利用促進普及事業	(調整中)	150
11月未定	ティータイムコンサート	①芸術文化振興事業	タウンニュースホール	60
11月未定	アウトリーチ事業	②利用促進普及事業	市内施設	50
11月未定	やまなみコンサート(1)	①芸術文化振興事業	タウンニュースホール	100
11月未定	「丹沢文化通信」発行	③その他の事業	冊子発行	
12月未定	公民館アウトリーチ(伝統芸能)	②利用促進普及事業	市内公民館	50
12月未定	ランチタイムコンサート	①芸術文化振興事業	タウンニュースホール	60
12月未定	アウトリーチ事業	②利用促進普及事業	市内施設ほか	50
12月未定	やまなみコンサート(2)	①芸術文化振興事業	タウンニュースホール	100
1月未定	公民館アウトリーチ(出張寄席)	①芸術文化振興事業	市内公民館	50
1月未定	やまなみコンサート(3)	①芸術文化振興事業	タウンニュースホール	100
1月未定	ティータイムコンサート	①芸術文化振興事業	タウンニュースホール	60
1月未定	アウトリーチ事業	②利用促進普及事業	市内施設ほか	50
1月未定	はだの文化通信「ハルモニア」発行	③その他の事業	タウンニュース紙面企画	—
2月未定	やまなみコンサート(4)	①芸術文化振興事業	タウンニュースホール	100
2月未定	ランチタイムコンサート	①芸術文化振興事業	第1練習室	40
2月未定	アウトリーチ事業	②利用促進普及事業	市内施設ほか	50

3月1日(土)	サタデーフェスティバル	②利用促進普及事業	(調整中)	150
3月未定	ティータイムコンサート	①芸術文化振興事業	第1練習室	40
3月未定	アウトリーチ事業	②利用促進普及事業	市内施設ほか	50

※アウトリーチ事業の内容は、学校、福祉施設へ出前授業、出前コンサートを行います

※2月から管理棟の再開でランチタイムとティータイムコンサートは、会館内での開催に戻ります

(3)事業実施により目指す指標

○観客動員目標/年 2,940 人 ○観客満足度/90%以上

4. その他の事項

(1) 市民意識調査

令和8年度からの施設運営に市民ニーズを反映させるため、代表企業のタウンニュース社では令和7年4～6月に秦野市文化会館に関する市民意識調査を実施します。

市民意識調査の実施概要

○実施日：令和7年4～6月

○実施方法：①タウンニュース秦野版紙上で告知し、web フォームで受付

②出張公演でアンケート用紙を設置し、当日回収で受付

③回答者数の確保のため、抽選プレゼントを用意

○設問内容：興味のある公演ジャンル、施設へのイメージ、意見・要望

(2) レストランの運営

1. 実施概要

令和7年度は、全館休館および部分休館となるため、直営レストランの営業はいたしません。

令和8年度の再開へ向けた準備、人員募集を行います。

(3) 大規模改修工事

秦野市文化会館大規模改修では、秦野市や建設事業者と協議の上、共同事業体関係職員の立ち合いなどを行います。

(4) プロモーション強化

令和6年6月実施の「市民意識調査」で、「施設に求めるサービス」の設問について回答者の37%が「催し物の広報・PR の強化」を挙げています。休館期間が長期にわたるため、クアーズテック秦野カルチャーホールと市民とのコミュニケーションが途絶えることがないように、令和7年度もプロモーション強化を重点施策に位置付けます。

1. オリジナルメディアの活用・運営

○利用案内パンフレット	施設概要、ホール利用の案内パンフレットを活用します
○ホームページ	ホームページ上で施設情報やイベント情報などを配信します
○SNS	Facebook・X(旧 Twitter)等のアカウントで情報を発信します
○月刊「催し物案内」	文化会館の催し物スケジュールを紹介する A4版の月刊紙を発行します
○自主事業の販促物	自主事業を開催する際は、チラシやポスター等、販促物を制作します

2. オウンドメディア「タウンニュース」の活用

○クアーズテック秦野カルチャーホール情報コーナーの定期掲載化
タウンニュース秦野版(29,890部新聞折込+店舗施設配架)上で本施設に特化した情報コーナーを連載し、利用対象となる秦野市民に情報を届けます。
○自主事業は紙面広告を全県展開・提携キュレーションサイトも最大活用
神奈川県内全域と東京都多摩地区の全36地域(1,629,790部新聞折込+施設配架)で紙面を展開している当社の強みを生かし、自主事業の告知について市外へのプロモーションを行います。クアーズテック秦野カルチャーホールの知名度アップ、「文化芸術のまち」としてのシティプロモーションにもつなげます。また当社が提携しているキュレーションサイト(Yahoo,グノシーほか)への掲出も最大限活用し、若年層へのアプローチ

につなげます。
○利用団体のイベント周知（休館に伴う、他施設での開催告知もサポート）
文化会館利用団体のイベントについて、タウンニュース紙上で報道します。地域メディア社が管理する施設であるという強みを十分に発揮し、利用団体と市民とのつながりを創出する文化芸術の活動拠点として機能するよう、広報支援に取り組みます。

3. 当館利用登録団体との関係継続、市内事業所や芸能プロモーターへの利用促進強化

○利用団体	会館再開へ向けたお知らせや利用案内を送付します
○市内事業所	未利用団体や事業所へ向け、利用促進案内を送付します
○芸能プロモーター	会館再開へ向けて、大小ホールの利用促進を案内します

(5) 市内芸術振興及び文化会館の利用普及、宣伝をはかる取り組み

私たちは「みんなの文化会館」の理念に基づき、秦野市の文化芸術振興に寄与し、広く親しまれる施設運営をするため、それらに資する自主事業と広報活動に取り組みます。

1. 多くの市民が芸術に触れ、学び、活躍する自主事業

全館休館中にも、「みんなが身近に音楽に触れる機会」「子供たちが芸術に触れる機会」「みんなが発表・活躍する機会」「みんなが文化会館を知る機会」を創出するため、地域人材などを活用したアウトリーチ型事業に力点を置きます

2. 市の芸術文化振興へ 文化会館と連動した媒体の発行

市内の芸術文化振興のため、文化会館と連動した下記のような媒体を制作します。

○芸術文化創造マガジン「丹沢文化通信」

市内で活躍するアーティスト、文化芸術団体の活動、誰もが楽しめるアート体験の場など、市民が地域の文化芸術に触れてみたくなる話題を集めて発行します。情報公開の観点から、市に提出する事業報告書の内容についても掲載します。（年1回、A4版24頁、令和7年9月発行予定）

○タウンニュース全面特集企画「芸術文化通信 harmonia ハルモニア」

タウンニュース秦野版で全面1頁の芸術文化通信を企画します。芸術文化活動に光を当てる特集記事、文化会館の公演情報、地域のイベント情報等を掲載します。（年4回発行予定）